

2026 年 10 月吉日

災害支援活動に従事された皆様

研究責任者 瀬戸口 祐子
(宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科・講師)

研究調査に関するご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、「災害関連死に結び付く誤嚥性肺炎の予防に向けた歯科保健医療ニーズの実態調査」を実施することといたしました。つきましては、最前線で災害支援活動に従事された皆様に、ご協力をお願いしたくご案内申し上げます。

本研究は、避難所等における口腔衛生管理の実施状況と誤嚥性肺炎発症リスクの認識、歯科保健医療専門職への具体的支援ニーズ等を明らかにすることを目的とした Web アンケート調査です。対象者は、2018 年（平成 30 年）7 月豪雨による災害以降、国内の災害支援活動に従事した経験を有する方です。

災害時の避難生活では、断水や口腔衛生用品の不足、義歯の紛失等により、口腔衛生状態が悪化しやすいとされ、特に高齢者や要介護者等の配慮が必要な方において誤嚥性肺炎の発症リスクが高まることが指摘されています（高藤真理, 2018）。しかし、避難所等では救命医療や生活環境の確保が優先され、適切な口腔衛生管理が行われない、摂食嚥下機能低下に応じた支援が十分に行き届かない場合があります。

災害支援活動に従事された方には、医療職、福祉職、行政職、保健・栄養・介護・リハビリテーション等の専門職、業務調整員、団体職員、ボランティアスタッフ等、さまざまな職種・立場の方が含まれます。これらの皆様は、被災者の生活環境に深く関わる中で、口腔衛生や摂食嚥下機能低下に関する課題に直面する機会も多いと考えられます。しかし、災害支援活動経験者が認識した口腔関連の課題や、歯科保健医療専門職に求める支援内容を定量的に調査した研究は限られています。そのため、災害支援活動に携わった皆様のご経験は、災害時の歯科保健医療ニーズを検討するうえで極めて重要であると考えております。

つきましては、災害支援活動のご経験を有する皆様へ、ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、研究説明をご確認のうえ、本調査の趣旨にご理解いただき、ご協力いただける場合は、回答フォームよりご回答くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

災害関連死に結び付く誤嚥性肺炎の予防に向けた歯科保健医療ニーズの実態調査

1. 調査題目

災害関連死に結び付く誤嚥性肺炎の予防に向けた歯科保健医療ニーズの実態調査

2. 研究の背景

阪神・淡路大震災では災害関連死 921 名のうち 223 名（24.2%）が肺炎であり（一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会, 2025）、東日本大震災においても肺炎を含む呼吸器疾患が災害関連死の死因の多くを占めていたことが報告されています（高藤真理, 2018）。被災後の生活では、断水や口腔衛生用品の不足、義歯の紛失などにより、口腔衛生状態の悪化が危惧されます。また、発災直後の急性期から亜急性期にかけては救命・救急医療が優先されるため、避難所等では口腔衛生管理の優先度が低くなる傾向にあります。しかし、災害支援者が避難所等で直面する口腔に関する課題や、歯科保健医療専門職に求める支援内容を定量的に明らかにした研究は限られています。

3. 調査の目的

本研究は、2018 年（平成 30 年）7 月豪雨による災害以降、国内の災害支援活動に従事した経験を有する方を対象として、避難所等における口腔衛生管理の実施状況と誤嚥性肺炎発症リスクの認識、歯科保健医療専門職への具体的支援ニーズ等を明らかにすることを目的とした Web アンケート調査です。

本調査を通じて、災害時における歯科保健医療支援の課題を整理いたします。その結果を踏まえ、医科歯科連携および多職種連携の推進、ならびに歯科保健医療専門職の効果的な介入方法の検討につなげたいと考えております。

4. 研究責任者および研究分担者（所属・職名・氏名）

研究機関：宝塚医療大学

研究責任者：宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科・講師・瀬戸口 祐子

研究分担者：宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科・教授・杉山 勝

東北大学大学院歯学研究科災害・環境歯学研究センター・

特任講師・中久木 康一

5. 本調査へのご協力について

本研究は、宝塚医療大学研究倫理委員会の承認および学長の許可を得て実施されるものです。本調査は、2018 年（平成 30 年）7 月豪雨による災害以降、国内の災害支援活動に従事されたご経験を有する方を対象としています。

6. 個人情報の保護とプライバシーへの配慮等

本調査は、Google フォームを用いて実施します。重複回答を防止するため、Google フォームの標準機能により、回答者の Google アカウントのメールアドレスを自動的に取得します。取得したメールアドレスは、重複回答の判別のみに使用し、回答データから速やかに分

離して管理します。本人確認および統計解析には使用せず、研究終了後、速やかに削除します。メールアドレスを除く研究データは、原則として 10 年間、研究責任者が適切に保管します。

7. 調査結果の利用および公表

調査結果は、災害時における歯科保健医療支援体制の改善、多職種連携の円滑化、および歯科保健医療専門職の効果的な介入方法の検討に利用します。また、学会発表や学術雑誌等において公表することがありますが、個人名、団体名が特定される情報が公表されることはありません。

8. 研究期間

2026 年 9 月 30 日から 2028 年 3 月 31 日までです。

9. 同意の取得

Web アンケートの冒頭に、研究目的、調査方法、個人情報の取り扱い、研究参加の任意性、不参加による不利益がないこと、および問い合わせ先を記載した説明文を掲載します。皆様に研究説明文をご確認いただき、同意欄にチェックを入れたうえで回答を完了して送信したことをもって、研究参加への同意が得られたものとします。なお、回答途中で中断した場合は、データを収集しません。

10. 回答および回収方法

以下のアンケート調査サイトからご回答ください。回答期限は 2026 年 12 月 20 日 です。

URL : <https://linkcare-dh.co.jp/lp/survey-oralcare/>

QR コード



11. お問い合わせ先

本調査についてご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

研究責任者：宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科・講師・瀬戸口 祐子

名称：宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科

住所：〒531-0071 大阪市北区中津 6-9-38

電話番号：06-6451-8020

メールアドレス：setoguchi@tumh.ac.jp

以上